

映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」無料上映会

令和2年1月18日(土) ① 9:30~11:30 (受付9:15~)

会場: 愛鷹地区センター大会議室 ② 13:30~15:30 (受付13:10~)

※ 事前申込必要(各回50名、先着順) ⇒ 受付期間 令和元年12月2日(月)~12月25日(水)

ご自分、ご家族、身近な誰かが認知症になったら・・・  
愛鷹地区の様々な世代の方に、観ていただきたい映画です。

# かえり道を向け、初めて気づいた。 両親がお互いを思い合っているということ。

母、87歳、認知症。  
父、95歳、初めての家事。

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファイナダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた...

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に

帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしができる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

大反響のテレビドキュメンタリー、  
待望の映画化。

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。



港町呉は坂の多い町でもあります。買い物をするにも一苦労。結婚以来、父と母はずっとここで暮らしてきました。

【102分/字幕付き】

ひとり娘  
ドキュメンタリー監督  
信友直子



1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。



令和元年度  
文化庁映画賞  
文化記録映画大賞

ぴあ映画  
初日満足度1位  
(11月3日ぴあ調べ)

第36回  
日本映画  
復興奨励賞

第92回  
キネマ旬報ベスト・テン  
文化映画3位

文部科学省  
特別選定映画

第43回  
日本カトリック  
映画賞

厚生労働省  
推薦映画

ドキュメンタリー映画

ぼけますから、  
よろしくお願いします。



申込み・問合せ 受付:月~土:8~17時

あしたか地域包括支援センター

沼津市東椎路 1742-1 (あしたかホーム内)

電話: 055-967-2988